

# 令和7年度 学校関係者評価書

南アルプス市立南湖小学校

## 学校関係者評価委員会

- 1 実施日 令和8年1月14日(水) 午後3時30分より  
(初めに甲西4校の全体会を行った後、各学校ごとに分かれて学校関係者評価委員会を行った。)
- 2 会場 甲西中学校 学習資料センター(図書室)
- 3 評価者 学校関係者評価委員  
大森 修 (地域住民代表) ※今回は都合により、書面でご意見をいただきました。  
保坂 重敏 (地域住民代表) ※今回は都合により、書面でご意見をいただきました。  
入倉 喜明 (南湖地区主任児童委員) ※今回は都合により、書面でご意見をいただきました。  
望月 圭介 (PTA会長)  
学校職員  
横澤 敏英 (校長)  
米山 隆男 (教頭)

- 4 学校から提案された内容  
教職員・保護者・児童のアンケートの昨年と今年の結果の比較、及び分析と考察(教頭)

- 5 協議の内容  
※学校評価の結果と考察、改善策について説明後、特に課題と思われる点についてご意見やアドバイスをいただいた。

### ① 学習規律について

(学校関係者評価委員より)

- ・今は、様々な特性を持つ児童が多いので、先生方の一斉指導が大変だと感じる。学校は、多様性の理解を学べるとてもいい機会だと思う。

(学校より)

- ・教室にいられず、飛び出していく児童が増えている。そのような子のために、図書室の西側(元コンピュータ室)にジュータンを敷き、子どもたちが落ち着けるスペースを作った。

### ② 計画的な家庭学習のために

(学校関係者評価委員より)

- ・家庭学習の定着は、かなり難しい問題だと思っています。大人だってそうですが、子どももやりたくないことを自分から積極的にやろうとは思えません。そうするとやはり習慣づける様にならないとできません。具体的にどう習慣づけるかですが、甘いアメをちらつかせて、「宿題やったら遊んでいいよ。」と言い、やらせる方法が一番良さそうです。但し、言い方も「宿題をやらなければ遊

んではダメ。」と言わず、「宿題やったらいっぱい遊んでいいよ」と。

- ・小学校の計画的な家庭学習は、毎日決まった時間、例えば帰宅後すぐに取り組みなど、学習習慣をつける。宿題や10分程度のドリルから始め、親子で一緒に目標を決めて取り組むことが必要だと思います。

(学校より)

- ・学校の授業での学力を定着させるためにも、日々工夫を凝らした課題や宿題を出すとともに、家庭学習定着週間などを利用し、今後も指導を継続していきたい。

### ③ 児童のあいさつについて

(学校関係者評価委員より)

- ・家庭内では、ふつうにあいさつができています。交通安全指導で立っているときは、1年生と6年生はあいさつができていると思う。中学生が一番できていないのではないかと感じる。
- ・私の感覚では、かなりあいさつしてくれるという印象です。ただまだ定着していないということであれば、学校だけでは難しく、地域を巻き込むしかありません。地区の自治会に依頼し、地区の人たちに協力してもらえようお願いしたらどうですか。
- ・あいさつは、対人コミュニケーションの第一歩だと思います。何々社会情勢のこともあり、難しい問題だと思いますが、大人からの手本を示すなど、無理強いせず、時間をかけて見守ることも必要だと思います。
- ・日々登校班の見守りをしていますが、最近は以前はあいさつしてくれた子どもも、声が小さくなったり、中にはほぼ無視する子も見受けられます。学校ではいろいろ取り組んでいただいていると思いますが、一番は家庭ではないでしょうか。「朝起きたらおはよう」ができないとなかなか難しいと思います。まずは保護者からだと思います。

(学校より)

- ・4・5月は、あいさつがよくできていたが、だんだん声が小さくなってきている。学校でも、あいさつは人と人のコミュニケーションの第一歩であり、とても大切なことであることを指導しているが、さらにあいさつができる児童を育てるために、日々職員の方から声をかけ、見本を見せ、実践していきたい。また、保護者の方の中にもあいさつを返してこない方がいる。職員だけでなく、保護者の方も一緒にあいさつに取り組んでほしい。

### ④ ネット利用・スマホ・携帯について

(学校関係者評価委員より)

- ・スマホ・携帯の所持やルール作りは、家庭の問題なので、非常に難しい問題だと思う。それぞれの家庭が子どもを守ることを意識して行ってほしい。
- ・しっかりルール作りをする家庭があれば、そんなことは気にしない家庭もあるはずですが。こうなるとオーストラリアのように規制するなど(ヨーロッパも検討中)考えないと難しいと思います。学校から国に提案してもいいのではないですか。
- ・スマホのルール作りは、一方的な押し付けでなく、子どもと一緒に話し合い決定し、成長に合わ

せて見直すことが必要ではないでしょうか。具体的な制限を設けて、守れなかった時の対応も子どもと一緒に決めたいかがでしょうか。

- ・学校での取り組みはとても大事ですが、これも家庭での取り組みが大切だと思います。お父さん、お母さんに向けての対応が求められます。保護者の方が来校される機会に、1時間くらいで終わるセミナーなどはできないでしょうか。

(学校より)

- ・どの学年においてもスマホ・携帯の所持率が上がっているのので、学級活動や道徳の時間に学習を行うとともに、外部の講師を招いて安全教室を開催し、事件やトラブルが起きないように今後も行っていく。

#### ⑤ その他の感想・要望等

- ・小中一貫の取り組みは、6年生にとっては、他校の児童や中学生との交流の場になりとても良かったです。今後も引き続きやってほしいと思います。また、南湖小の運動会や音楽発表会などの学校行事も充実していて良かったです。
- ・教員の多忙化が問題になっているので、先生方には無理をせず、減らせるところは減らして、今後も活躍していただきたい。
- ・これからはグローバルな社会が一層加速されていくと思われます。小さい頃から自分の意見や考え方を主張できるようなご指導をいただけたら幸いです。何かと大変な世の中、よろしくお願いいたします。

令和8年1月30日

評価書作成責任者

事務局 学校職員

米山 隆男